

実施状況報告

事業名	企画展「錯視のふしぎ」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年10月6日～11月11日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	11,028名
視覚による錯覚現象「錯視(さくし)」を中心に、その不思議さと人間の視覚システムについて、錯視図形や映像、体験展示も交えて紹介しました。	

事業名	天体観望会「秋の星座と木星」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年11月3日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	17名
研修室で木星と衛星、その見え方について解説を行った後、屋上に移動し、天文台や望遠鏡で木星や星団、二重星の観察を行いました。終盤は雲が広がり始めたため、研修室に移動し、今後の天文現象の見どころについての解説を行いました。	

事業名	愛媛県総合科学博物館 開館記念イベント
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年11月4日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	3,122名
平成6年に開館した総合科学博物館は、11月4日に開館記念イベントとして、親子で楽しめる次の内容のイベントを行いました。ドングリやまゆ玉、水引で工作したり、巨大風船や磁石を使った大掛かりな実験ショーを行ったりと、家族連れをはじめ多くの来館者に楽しんでいただきました。 【実施イベント】 ・ 常設展示室 無料開放 ・ ワークショップ「タネで遊ぼう!」「まゆ玉人形をつくろう!」「水引ストラップをつくろう!」「リング飛行機を作ろう!」の実施 ・ スペシャルサイエンスショー「スリラー博士のびっくり!空気のおもしろ実験ショー」「科学手品を楽しもう!」の実施 ・ プラネタリウム特別スケジュールの実施 ・ 「にいはま物産展」の実施	

事業名	サイエンス工房「くるくるビー玉を作ろう!」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年11月10日・24日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	251名
針金をらせん状に巻きつけ、その間にビー玉を挟み込んでビー玉のストラップを作りました。針金を回転させると、ビー玉が上がったり下がったりしているように見える、「バーバーポール錯視」を利用した錯視の工作で、企画展「錯視のふしぎ」と関連させて実施しました。	

事業名	かんたん!工作教室「不思議めがねを作ろう」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年11月11日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	92名
分光シートを使って、明りが虹色に見える「不思議めがね」を製作し、いろいろな明りを見て、虹色になるのを観察しました。	

事業名	産業講座「愛媛県伝統的特産品である水引について学ぼう」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年11月18日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	4名
伝統的特産品である水引について解説を行った後、水引のキットを使い、淡路結びやストラップを製作しました。その後、色々な水引を使って、クリスマスカードや年賀カードなどを製作しました。	

事業名	企画展「愛媛の博物誌」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年11月23日～平成25年1月27日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	(開催中)
愛媛県立博物館から移管された膨大な自然史資料から「貝」を取り上げて展示するほか、愛媛ゆかりの博物学者を紹介しました。	

事業名	サイエンス工房「発泡入浴剤をつくろう」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年11月23日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	182名
重曹、クエン酸にアロマオイルと色を加えて、お湯の中でシュワシュワと発泡する入浴剤を作りました。	

事業名	大人のための科学講座「大人も熱中する科学の実験」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成24年11月25日
場所	総合科学博物館(新居浜市大生院)
参加者	10名
科学に関心のある大人を対象に、「アルコールの雲を作る」、「マッチの赤リンから青い炎を作る」「巨大ネオジム磁石で磁力線観察」など、少し高度な材料・道具を使って科学実験を行いました。	



